

## VII 研究発表業績

## 1 学会等研究発表

年月日	学会等の名称 (開催地)	演 題	発表者
平成 28 年 9 月 7 日	第 57 回大気環境学会年会 (北海道)	茨城県における光化学オキシダント 及び VOC の実態調査	前田主任
10 月 21 日	全環研関東甲信静支部水 質専門部会 (静岡県)	平成 27 年度秋季の北浦における COD の増加要因について	中川技師
11 月 3～6 日	陸水学会第 81 回大会 (沖 縄県)	霞ヶ浦湖心における夏季の底層 DO 濃 度の推移とリンの動態	神谷主任
11 月 7～11 日	第 16 回世界湖沼会議 (イ ンドネシア)	Water quality characteristics in the Planktothrix dominant years in shallow Lake Kasumigaura	大内技師
〃	〃	Study on the nitrogen leaching mechanism agricultural lands	大内技師 (共同研究 者)
11 月 10 日	全国環境研協議会関東甲 信静支部大気専門部会 (茨城県)	茨城県における光化学オキシダント 及び VOC の実態調査	前田主任
11 月 17～18 日	第 43 回環境保全・公害防 止研究発表会 (山形県)	茨城県における事案の分析例	菅谷室長
12 月 4～8 日	International Nitrogen Initiative Conference	Accumulated nitrogen from organic fertilizer affects river nitrogen pollution	大内技師 (共同研究 者)
平成 29 年 3 月 15～17 日	第 51 回日本水環境学会年 会 (熊本県)	霞ヶ浦水質の季節性について	菅谷室長
〃	〃	浮遊物質の分画による懸濁態 COD, 窒 素, リンの起源推定	神谷主任
〃	〃	汽水湖沼沼における塩化物イオン濃度 の変化とその影響	大内技師
〃	〃	硝酸イオンの窒素・酸素安定同位体比に 基づく北浦流域における灌漑期の窒素 流入負荷起源の解析	菊地技師
〃	〃	霞ヶ浦底泥における Microcystis 細胞濃 度の変化とその影響	長濱技師

3月28～30日	日本地理学会2017年春季 学術大会（茨城県）	銚田地域における地下水中の硝酸態 窒素濃度と土地利用の関係	大内技師 (共同研究 者)
----------	----------------------------	----------------------------------	---------------------

## 2 誌上発表

題 名	執 筆 者	掲 載 誌
Phosphorus budgetary analysis of sediment-water interface in a short-term anoxic condition in shallow Lake Kasumigaura, Japan※	Koichi Kamiya, Takehiko Fukushima, Takao Ouchi, Morihiro Aizaki	Limnology, Vol.18, No.1(2017)
自然水中における鉄の化学種と生物利用性—鉄と有機物の動態から見る森・川・海のつながり—※	夏池真史, 菊地哲郎, Lee Ying Ping, 伊藤紘晃, 藤井学, 吉村千洋, 渡部徹	水環境学会誌, Vol.39, No.6(2016)
純淡水魚と水生植物を指標とした湖沼の生物多様性広域評価の試み※	松崎慎一郎, 小日向寿夫, 中川圭太, 大内孝雄ほか	保全生態学研究, Vol.21, (2016)
Correlations between aromaticity of dissolved organic matter and trace metal concentrations in natural and effluent waters:A case study in the Sagami River Basin, Japan※	Tetsuro Kikuchi, Manabu Fujii, Koumei Terano, Ran Jiwei, Ying Ping Lee, Chihiro Yoshimura	Science of the Total Environment, 576, 36-45(2017), Available online:22 Oct 2016,
霞ヶ浦の底層DOと透明度の現状と課題	菅谷和寿	水環境学会誌, Vol.39, No.5(2016)
淡水中における溶存態微量金属と溶存有機物の光学特性との関係	菊地哲郎, 藤井学, 吉村千洋	号外海洋, 号外 58
ハス田を霞ヶ浦のシンボルに!	相崎守弘	用水と排水, Vol.59, No.2(2017)
第43回環境保全・公害防止研究発表会各座長によるセッション報告	菅谷和寿	全国環境研会誌, Vol.42, No.1(2017)

※：査読付き論文